

南丹市教育委員会会議録

平成 30 年第 10 回定例会

(平成 30 年 10 月 24 日)

平成30年南丹市教育委員会第10回定例会会議録

1. 日 時 平成30年10月24日(水)
開会 午後3時30分 閉会 午後5時10分
2. 場 所 南丹市役所2号棟 教育委員会会議室
3. 付議事件 別紙議事日程のとおり
4. 招 集 者 教育長 木村 義二
5. 出席委員 教育長 木村 義二
教育長職務代理者 武田 義史
委 員 高屋 毅史
委 員 城戸 貴子
委 員 杉尾 光明
6. 欠席委員 な し
7. 事 務 局 教育次長 中川 勇夫
教育参事 榑 貢
教育総務課長 福井 修
学校教育課長 山内 紀子
学校給食共同調理場所長 村田 文雄
社会教育課長 寺田 成樹
8. 傍 聴 人 な し

日程1 開会

教育長が平成30年南丹市教育委員会第10回定例会の開会を告げる。

日程2 会議録作成者の指名

教育長から会議録作成者に福井教育総務課長を指名する。

日程3 会議録の承認

日程4 報告事項

(1) 主な行事報告等

(教育次長)

■ 9月27日、ことばの力育成支援員会議を開催した。今回はことばの力育成支援員に加え、中央図書館、八木・日吉・美山図書室から職員の参加があり、南丹市の読書環境の推進・充実に向けた取組についての協議や「南丹市子どもの読書活動推進計画」の改訂に関わる意見交流を行った。

■ 10月3日、4日の両日で、議会一般質問が行われた。

■ 10月10日、校園長会議を開催し、冒頭、教育長より各校園長への依頼と説示を数点に分けて行った。

まずは10月に行う中間自校評価のまとめについて、学校運営協議会や学校評議委員会、PTAの会議等において提示する必要があると説示を行った。

次に、議会において通学時の地震等の安全についての質問を受けたことから、特に通学路の危険箇所について安全マップを見直す等、安全点検を改めて行ってほしいということ、また南丹市で策定している安全マニュアルについて、校長がもう一度確認して、教職員への周知を徹底することと、万が一に備え避難訓練を実施し、子どもの命に関わることは、学校教育の中では第一に優先していただくよう依頼を行った。あわせて同じく議会において園部小学校の学童保育開設場所がもう少し近くなるかとの質問を受けたことから、市長より園部小学校の周辺、若しくは学校内敷地で対応をしたいとの答弁があったこと、また八木東小学校についても同様の対応を行う旨の報告を行ったことをふまえ、今後の設置に向けた対応を検討する上で、校園長からも意見を出してほしいとのことで説示を行った。続いて台風の被害について、今年は特に被害が大きく、学校付近の民家に被害を与えたこともあり、学校付近の民家に被害をもたらす危険があるものがないかの確認について依頼を行い、その後研究発表についても、国や府、また小教研や中教研等の研究発表会が開催予定であり、各校、研究発表会への参加を通じての活気づくりについて依頼を行った。

さらに、校長先生、園長先生が考える、特色を出した学校・園づくりについて、指定を受けている箇所は国や府の求めに応ずることも重要ではあるが、校園長の思いや、ビジョンに沿った学校・園づくりを行うことが、子どものためになり、教職員の励みにもなるので、特色のある取組を行ってほしいということ、また校園長自らビジョンを作って何が大事かを考え特色を出していただきたいということを、教育委員会がバックアップする体制も整えたいとの考えを伝えるとともに再度依頼を行った。

加えてこれからの南丹市を背負う子どもたちが暮らしやすいよりよい町づくりに向けて市長が特色を生かした町づくりを探求していることから、先生方においても何か良いアイデアがあれば校長に報告するよう周知の依頼を行った。

最後に、今年度策定された「南丹市のスポーツ推進計画」について、スポーツ少年団やスポーツ協会の思いが詰まっているものであり、特に「南丹市がどういうスポーツを目指すのか」の指針であるので確認いただくよう依頼を行った。

■ 10月12日、第67回全国へき地教育研究大会が美山小学校で開催された。全学級の美山学に係る総合的な学習の時間等の公開授業の後、6年の美山学学習

発表があった。地域にある教育資源を学校教育に取り入れ、学校の教育活動の充実と地域の活性化を促進する地域とともにある学校づくりの取組を、地域の人々と学校が教育目標やビジョンを共有して協働して取り組んできた美山小学校の数々の実践は、新学習指導要領の大きな柱である「社会に開かれた教育課程」を具現化したものであり、参加者から感銘を受けたとの感想が多く寄せられた。

■ 10月13日、口丹波中学校駅伝競走大会が京都府立丹波自然運動公園で開催された。南丹市からは男子4中学校6チーム、女子4中学校6チームが参加し、総合優勝・区間賞を目指して襷を繋いだ。特に女子の部は、園部中学校Aチームが昨年に引き続き第2位と健闘し、第二区と第三区で区間賞、第5区で2位に入賞する等、好成績をあげた。

■ 10月17日、第13回南丹市小学生陸上運動交換記録会が南丹市園部公園陸上競技場において開催され、市内7小学校の5・6年生491名が「トラック競技」では100m（全員）、50mハードル、800m（選択）、「フィールド競技」では走り幅跳び、走り高跳び、ボール投げ（選択）にそれぞれエントリーし、自己の記録更新をめざして全力で競技に参加することができた。

■ 10月20日、21日の両日で、第12回京都丹波美術工芸教育展が開催された。今年度は、亀岡市、南丹市、京丹波町の保育所、幼稚園、小、中、府立学校、専修学校から、計1076作品が出展され、多くの子どもや保護者、地域の方々が鑑賞に訪れた。同時に21日には国際交流会館コスモホールにおいて、南丹市立保・幼・小・中から11名の児童生徒が表彰された。また、今年度から、京都丹波キッズふれあい駅伝ポスターコンクール最優秀賞の表彰も併せて行われた。

(2) 平成30年9月議会定例会における一般質問について

(事務局)

資料に基づき報告。

(城戸委員)

教師力の向上ということで、指導力をどのように計測するのか。

(事務局)

児童生徒の学力成績や、スポーツ活動における大会成績等を基準に答弁を行っており、日常の指導については今回の答弁内容には含めていない。

(高屋委員)

学童保育について保育所は7時まで保育を実施しているが、学童は6時30分までの保育となり、進学によって30分間短縮されるのは厳しいとの声があがっていると認識するがどうか。

(事務局)

国においてもいわゆる「小1のギャップ」が課題とされており、市としても今後検討していく課題の一つであると認識している。厳しい財政状況下にあるため、少しずつになるが解消に向けて取り組んでいきたいと考える。

(3) 南丹市教育委員会の後援承諾について

(事務局)

資料に基づき報告。

日程5 議事

報告第8号 南丹市立幼稚園保育料条例施行規則の一部改正について

(事務局)

上記議案について、別紙資料により説明。

[採決]

報告第8号について教育長から委員一人一人に諮り、全員一致で承認する。

議案第36号 南丹市放課後児童健全育成事業に関する条例の一部改正について

(事務局)

上記議案について、別紙資料により説明。

[採決]

議案第36号について教育長から委員一人一人に諮り、全員一致で承認する。

議案第37号 南丹市放課後児童健全育成事業に関する条例施行規則の一部改正について

(事務局)

上記議案について、別紙資料により説明。

[採決]

議案第37号について教育長から委員一人一人に諮り、全員一致で承認する。

日程6 その他

(1) 行事予定

(2) 教育総務課から報告

- ・教育委員研修について

11月2日(金) 府内市町村(組合)教育委員会研修会

11月21日(水)、22日(木) 市町村教育委員会研究協議会

(3) 学校教育課から報告

- ・第2回いじめ防止等対策委員会の報告について

(4) 学校給食共同調理場から報告

(5) 社会教育課から報告

- ・文化力の向上について
- ・文化祭の日程について

(事務局)

上記報告について、資料により説明。

(城戸委員)

調査アンケートについて、記名式にすることによってデメリットがあると考えるが。

(事務局)

記名により責任感が生じることから、様々ないじめの本質を把握して対応できるという点からも、京都府全体において記名式にする傾向がある。

また市としても以前は無記名で取り組んでいたが、記名式にすることで生徒とのコミュニケーションがとりやすくなったということや、内容について実態を把握しやすくなったと現場から声が上がっており、注意点として、生徒によっては本当のことが書けない可能性があるということについては、配慮が必要であるということで報告があがっている。

[次回定例会について]

(教育長)

次回の日程について11月14日(水)午後3時30分から開催としたいがどうか。

(委員)

教育長から各委員一人一人に諮り、全員一致で同意する。

(午後5時10分閉会)

南丹市教育委員会会議規則第19条第2項の規定により、ここに署名する。

平成 年 月 日

南丹市教育委員会教育長

南丹市教育委員会教育長職務代理者

南丹市教育委員会委員

南丹市教育委員会委員

南丹市教育委員会委員

(会議録調製者)

南丹市教育委員会教育次長
